

会 議 録

[所管課 水谷公民館]

会議の名称	平成26年度第1回水谷地区公民館運営審議会会議録
開催日時	平成26年9月10日(水) 午後4時～6時30分
開催場所	水谷公民館 第1和室
出席者	是永 国彦委員 山本百合子委員 川端 正則委員 関根 健一委員 冨塚 一資館長 大日方清美主査 南部 英司主任 加治あゆみ主任
会議次第	あいさつ 水谷公民館館長 地区公運審代表是永委員 議事＝協議事項 別紙のとおり
会議資料	別添のとおり。
会 議 内 容	
議事	
1. 連絡事項	
○前期事業報告について →別紙1参照。事業担当者より説明。	
○今年度の運営審議会の流れについて →別紙2参照。司会進行より説明。	
○水谷小区まちづくり協議会懇談会の報告 →館長より経過説明。	
2. 協議事項	
(1) 利用者世話人会のあり方について	
館長：今年度世話人会について、7月の利用者懇談会で了承して、4名増えて26名でのスタートとなった。他の公民館にある『利用者連絡会』が水谷では、利用者世話人会として組織されているが、公民館が事務局となっている(他館については、公民館と一定の距離をおいて組織が存在している)。従来の水谷の形をこのまま	

継続することもよいことだが、地域が自立していくという面においては、世話人会のかたちを今後考えていく必要があるのでは。公民館自体も、入間地区においては指定管理になったり、市長部局へ移行したりと動向が激しくなっている。

委員：確かに、みんな何となく「世話人会」に入っているが、組織の実態としては、文化祭と新春交流会で会議をするくらいで、詳細は不明・・・の部分があるのでは。人数が足りているのか、足りていないのか、そのあたりも曖昧でつかめていないところがある。

館長：世話会の主な仕事が、文化祭の総務委員会と新春交流会での実行委員当番になった時。もし、形を見直すのであれば、動き出すのは、年明けの新春交流会が終わったあとがタイミングとしてよいと考えている。今年動き出せるかはわからないが、職員内でも検討をしているところであるため、公運審で回りながら、進めていこうと思っている。協力を依頼。

(2) 今年の事業について

職員：別紙④の、事業一覧について説明。今年度の新規事業について、①はじめのいっぽ事業、②健康づくり事業、③水谷学級関係の3パターンを考えている。①については、以前公運審委員より話がでた、『公民館カフェ』につながるような、地元（寺下）の喫茶店マスターを講師としてお願いするコーヒー講座、定年の方を対象とした、家から一歩でるきっかけづくりの『庭いじり』に関連する野菜づくり講座、②については、現在も朝公民館で行っているラジオ体操を充実させ、周知を図ることと、市民要望のウォーキング（屋内で考えると、定期の空き部屋があまりないため）を身近な貝塚公園からスタートして行うことを考えている。また、最近、単身者の方から「単身者のみのサークルが欲しい」という要望があり、単身の方ならではの話ができる仲間づくりの場が欲しいということから、学級をきっかけにつくれないか検討しているところ。

委員：確かに、1人だと、家族がいる方と異なり、同居の人がいないゆえの悩みがあったり、仲間がそれなりにいる方は大丈夫だと思うが、お知り合いになってもいきなり「おひとりですか？」とは尋ねられないので、わからない部分が多い。単身ならではの話題もあつたりするので、確かに共感できる。

館長：「独居老人」という言葉が福祉ではよく聞かれるが、本当に要望をしてきた方は、切実な胸の内を職員に話してくれたため、気軽に入れるサロンを考えている。ただ、近年「独居老人」という言葉がよく聞かれる背景を考えると、かなり館区でも対象となる方はいるのでは？と思っている。是非、こちらはスタートさせたいと考えている。

職員：はじめのいっぽでスタートしたサークルは、ここ数年サークル化されて、活発になっているが、「俳句」はどうか？水谷には、短歌・俳句など文芸のサークルがないため、今後検討してみてもいいのでは？

3. その他